

2007年4月2日

各位

日新火災海上保険株式会社

火災保険の適正な募集態勢等にかかる点検について
(一斉点検による検証結果の概要)

2007年2月1日にお知らせしましたとおり、弊社では、火災保険契約において適正な保険料が算出されているか否かについて検証を実施しております。検証は、「一斉点検による検証」「契約の更改時における検証」「長期契約・自動継続契約の検証」を3つの柱として取り組んでおりますが、このうち「一斉点検による検証」が完了いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

弊社といたしましては、今後も今回の一斉点検以外の検証に引き続き取り組むとともに、今回の問題を厳粛に受け止め、同様の問題が二度と発生しないよう、全社をあげて再発防止に取り組んでまいります。

1. 全体の概況

お客さまが海外出張中やご病気等の理由で、今後継続してご対応する必要があるご契約を除き、対象物件の調査は全件完了しております。調査の対象となる物件数5,991件に対し、2,812件の保険料誤りが判明しました。構造級別や適用保険料の誤りにより保険料をいただき過ぎたご契約につきましては、お客さまに確認のうえ契約内容を訂正するとともに、訂正後の保険料との差額を返還するための手続きを進めさせていただいております（返還する保険料の概算見込み：169百万円）。

2. 項目別の物件調査状況

調査項目別の対象件数および点検の結果保険料が誤っていた件数は以下の通りです。

なお、ひとつの物件が複数の調査項目に該当する場合がありますため、調査項目ごとの件数の合計は調査対象物件数（5,991件）および保険料誤り物件数（2,812件）とは異なります。

調査項目	調査対象件数	保険料誤り件数
(1) 木造ALC版張建物の構造級別判定誤り	4,257件	1,066件
(2) 省令準耐火（2×4住宅等）構造の適用誤り	670件	393件
(3) M構造（マンション構造）割引の適用誤り	989件	810件
(4) 地震保険建築年割引の適用誤り ^{※1}	1,621件	923件
(5) 超過保険等の不適切な保険金額の設定 ^{※2}	621件	373件

※1 上記（1）～（3）の調査対象契約について点検いたしました。

※2 上記（1）～（3）の調査対象契約および事故受付時に超過保険が懸念されたものについて点検いたしました。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

商品部火災グループ TEL：03(5282)5526

〔ニュースリリースに関するお問い合わせ先〕

社長室広報グループ TEL：03(5282)5503